

## JOSEPH BEUYS

ヨーゼフ・ボイス

- 1921 クレーフェルトの病院で生まれる。
- 1940 クレーヴェのヒンデンブルク・ギムナージウムを卒業。ドイツ空軍に徴兵される
- 1943 冬ーボイスの乗った飛行機はロシア空軍機の追撃にあい、ドイツの戦線内に不時着する。  
8日間タタール人に介護さる。タタール人はボイスを脂肪とフェルトで包んだ。
- 1947-51 デュッセルドルフ・クンスト・アカデミーのヨーゼフ・エンゼリンクと  
エーヴァル ト・マタレのもとで彫刻を学ぶ。
- 1951 個人パトロンのための作品制作を始める。ファン・デア・グリンテン兄弟は、  
ドローイングと木版画を買い、ボイス作品をコレクションし始める。
- 1952 最初の公立美術館での展示。ヴッパタール市立美術館。
- 1958 クレーヴェのクアハウスにスタジオを移す。(1961年まで使われる)  
エーファ・ヴルムバッハと出会う。
- 1961 デュッセルドルフ・クンスト・アカデミーのモニュメント彫刻科の教授になる。
- 1962-64 フルクサス運動に参加する。
- 1964 カッセルのドクメンタ3に参加する。1951年から56年にかけて制作した彫刻と  
ドローイングを出品する。
- 1966 アクション「コンサート・ピアノのための等質浸透、現代の最も偉大な作曲家は  
サリドマイド児である」
- 1968 カッセルのドクメンタ4に参加。出品作品はインスタレーション「室空間彫刻」\*。
- 1971 アクション「ケルティック+〜〜〜」(Celtic+〜〜〜)をバーゼルの防空壕で行う。
- 1973 創造性と学際的研究のための自由国際大学の準備委員会を設立する。
- 1976 ヴェネツィア・ビエンナーレにインスタレーション「市電停車場」を設置する。
- 1977 カッセルのドクメンタ6にインスタレーション「作業場の蜂蜜ポンプ」を設置する。
- 1979 ヨーロッパ議会の選挙に緑の党から立候補する。  
ニューヨークのグッゲンハイム美術館で大回顧展を開く。
- 1980 ヴェネツィア・ビエンナーレに「資本空間」を出品する。
- 1982 カッセルのドクメンタ7にてアクション「7000本の樫の木」をスタートさせる。
- 1984 ボローニャ市の名誉市民になる。  
東京の西武美術館で展覧会を行う。(6月2日～7月2日)
- 1985 肺疾患から回復し、イタリアのカプリで最後のマルチプル作品である、  
「カプリ・バッテリー」を制作する。  
12月23日、最後のインスタレーション「パラッツォ・レガーレ」がナポリの  
国立カポテオモンテ美術館で披露される。
- 1986 ドゥイスブルク市よりヴィルヘルム・レームブルック賞を授賞される。
- 1月23日、死去

\*「室空間彫刻」(Raumplastik)・若江漢字訳